



八千代市郷土歴史研究会
 会長 村田一男
 事務局 八千代市勝田台 3-24-10 牧野方

*****お知らせ*****

平成 22 年度定期総会のお知らせ
 4 月 17 日 (土) 八千代市立郷土博物館にて
 ・定期総会 10:00~12:00
 会員の皆様には、このお知らせをもって総会開催通知といたします。
 ご欠席の方は委任状を、事務局までお送りください。
 (メール・FAX・はがきで、書式は自由)
 午後 1:00 から学習会
 古文書や文献に見える萱田村



八千代市長挨拶

☆☆☆☆ 報 告 ☆☆☆☆

平成 21 年度 八千代市民文化祭
 ふるさとの歴史展
 I 部 平戸村の歴史探訪 村の多彩な魅力
 II 部 八千代八福神めぐり
 III 部 「下総三山の七年祭り」
 IV 部 活動記録・丑年御縁年出羽三山の旅



展示説明風景

平成 21 年 11 月 24 日付朝日新聞

11 月 28 日 (土) 29 日 (日) 勝田台文化プラザ で開催された「ふるさとの歴史展」は、11 月 24 日付朝日新聞 (右新聞写し参照) に大きく報じられたこともあって入場者が増え大盛況裡に終了した。



入場者続々来場で受付も大忙し

31 千代 東 13 版 2009 年 (平成 21 年) 11 月 24 日 火曜日 第 1 頁 朝日新聞

八福神めぐりいかが

八千代の「新名所」、安置して 20 年

28・29 日、見どころ紹介 聖徳太子

一般に七福神とは、隠岐の島にまつられた七人の神を指す。八福神とは、隠岐の島にまつられた七人の神に加え、八千代市にまつられた八福神を指す。八福神めぐりは、八千代市立郷土博物館で開催された「ふるさとの歴史展」の一環として、11 月 28 日 (土) 29 日 (日) に開催された。八千代市立郷土博物館の展示室には、八福神の歴史や文化に関する展示が行われ、多くの来場者が興味をもち、見学した。八千代市立郷土博物館の展示室には、八福神の歴史や文化に関する展示が行われ、多くの来場者が興味をもち、見学した。

八福神が置かれた寺院	住所
聖徳寺	八千代市小宮 28531
妙徳寺	同市真木野 214
東栄寺	同市成田 017
長福寺 (米本)	同市米本 1507
正覚寺	同市米本 1530-1
天徳寺	同市東田 1427
長福寺 (萱田)	同市萱田 034
真徳寺	同市吉備 034
廣徳寺	同市吉備 037

「旧萱田村」フィールドワーク

12月13日（日）

成田 忠志

平成22年度の調査対象地区の旧萱田村を、先ずは自分達の目で確かめようとのことでフィールドワークを行いました。

東葉高速鉄道の八千代中央駅入口前に集合し、参加者の確認やら正月の亀戸七福神めぐりの参加募集、新人会員の自己紹介等にぎやかな会話があり、最終的に当日の参加者は29名となる。

会長挨拶の後中央郵便局の前を通り、目の前の低地である萱田第一緑地に降り水天宮を見学する。この低地は寺谷津といわれる谷津を一部埋めながら萱田第2緑地、貯水池と接続しており、普段は谷津を横切って作られた大通りを通



（萱田第一緑地 水天宮にて）

るためか谷津跡であることが分からず、低地に沿って歩いて谷（やつ）の形状を再認識する。

新川べりに向かい新川周辺の風景を眺めながら、江戸時代に沼津藩が新川の堀割普請にかかわった人足小屋跡は大体あの場所との説明を村田会長から受ける。

萱田の赤寺と云われ、寿老人を祭る「長福寺」に寄る。この寺は、先の八千代八福神の研究チームでは佐久間班が担当したことから、参加者への説明は私がやるようにとの指名があり、概略を説明させて頂く。

長福寺を跡にした一行は、本通りに沿って時平神社方向に歩くグループと裏道を歩くグループとに別れて進むが、裏道を歩いていると眼前に江戸時代の門扉はこのように立派なものであ

ろうと思える花島市右衛門家の迫力ある門扉に遭遇する。

時平神社前につくと花島家の墓域に寄らせていただき、奥に鎮座する寛文7年の銘がある大日如来像をはじめとする丸彫りの3体の石像を見学する。

この丸彫り石像は墓石であるが、市内には類似のものが無く是非八千代市の指定文化財にしても良いくらいの貴重な仏像であるとの会員の声もあり、次年度の調査でどういう見解が出されるかが楽しみです。

時平神社は萱田下区の方々が祀っており、先の花島家の墓域の境に子安塔や庚申塔など相当数の石造物があり、蕨会員や先輩会員から新入会員に詳細な説明がなされる。

本日の最終目的である飯綱神社に向かうが、途中、小さな祠をみて、此処にはどのような神様が祭られているかどうかを観ながら会員の話も弾む。

飯綱神社には急な階段を上ることになったが、上がり切ると目の前に鐘楼があり鐘楼の歴史や本殿の玉垣（二十四孝）の説明を受け、最後に飯綱神社下に集められた庚申塔群を見学して八千代中央駅までの帰路に着く。

中央駅で解散し、有志のメンバーで忘年会会場の勝田台の「菊よし」に向かう。

忘年会は、平塚・佐藤両会員の幹事役で和やかに会話が進むが、新会員の参加もあり、まさに和気藹々の楽しい忘年会であった



（萱田長福寺 本堂前にて）

平成 22 年 1 月 7 日 (木)

恒例の新春 「亀戸七福神めぐり」

午後 1 時 総武線亀戸駅北口からスタート

61 名が 4 組に分かれて、各組リーダーの案内で、史跡見学と七福神の巡拝をしました。

午後 4 時半に噴水公園で全員が再集合、そのあとの新入会員歓迎の懇親会も大勢の参加でにぎやかに行われました。



1 組
寿老人 (延命長寿) の常光寺にて (小菅リーダー)



2 組
寿老人 (延命長寿) の常光寺にて (田村リーダー)



3 組
寿老人 (延命長寿) の常光寺にて (鈴木リーダー)



4 組
弁財天 (芸道富有) の東覚寺にて (牧野リーダー)

コース

J R 亀戸駅北口 13 時集合—浄心寺—宝蓮寺—常光寺 (寿老人)—東覚寺 (弁財天)—香取神社 (恵比寿・大黒天)—梅屋敷—佑天堂—天祖神社 (福祿寿)—龍眼寺 (布袋尊)—光明寺—普門院 (毘沙門天)—御嶽神社—亀戸天神—銭座跡—噴水公園に全 4 組集合 16 時半—解散

2 月 4 日～5 日

「八千代八福神めぐりバスツアー」報告

八千代八福神創設 20 周年を記念して当会が計画した「八千代八福神めぐりバスツアー」に参加致しました。

1 日目 16 名 2 日目 17 名の参加。

2 日間とも穏やかな晴天に恵まれ会長以下徒歩、東洋バス、レインボーバス、ぐるっと号の交通手段を用いてほとんど計画案の通りに実施出来ました。

各寺では担当会員の案内と説明、各所の文化財については、会長の案内と解説がありました。

また種々新しい発見もあって、会員外で参加頂いた方にも好評でした。

2 月 4 日 (木) (注) →は徒歩 費用 460 円

9:00 勝田台駅集合=東洋バス=♀市営住宅前→9:30 村上正覚院 (参拝) →11:00 ♀村上駅入口=ぐるっと号=11:17 保品東榮寺 (参拝) →少年自然の家にて昼食・12:57 ♀少年自然の家入口=ぐるっと号=13:04 ♀上宿→13:19 林照院→米本神社→13:42 米本長福寺 (参拝) →14:27 城橋→新川遊歩道→15:00 萱田長福寺 (参拝)・15:30 解散・(15:45)

2 月 5 日 (金) 費用 1050 円

9:15 八千代緑が丘駅集合 =レインボーバス=9:40 ♀大学グランド前→10:08 小池妙光寺 (参拝) →10:48 神久保の東福寺→11:09 真木野の神明神社→11:14 真木野妙徳寺 (参拝) →11:22 ♀真木野 =ぐるっと号=11:30 ♀睦公民館 (食堂で昼食) →旧木下街道→吉橋城の土塁→吉橋貞福寺 (参拝) →来福院跡・14:09 ♀寺台入口 =レインボーバス=14:19 ♀八千代緑が丘駅 14:42 =東洋バス=14:54 ♀高津石橋→高津観音寺 (参拝)・15:44 ♀高津石橋=東洋バス=15:50 八千代台駅 16:00 解散

今回の実施結果で次回へ向けてより良き提案がされることでしょう。

参加された皆様、お疲れ様でした。

お知らせ

2月20日(土) 例会 午後1時

市立郷土博物館学習室

「遺物からみた萱田」について学習

○郷土史研通信 69号発刊

3月4日(木) 正覚院文書調査第3回

10時~16時 正覚院客殿にて。

3月14日(日) 例会 午後1時

京成電鉄大和田駅集合

「旧萱田村」F・W(第2回)

3月18日(木) 正覚院文書調査第4回

10時~16時 正覚院客殿にて

4月17日(土)

平成22年度 定期総会

八千代市立郷土博にて

(詳細は1P参照)

【報告】

1月13日(水) 拡大委員会 午後1時

拡大役員会「次年度事業について」

次いで役員会

会員の事業提案歓迎

1月14日(木) 正覚院文書調査第1回

10時~16時 正覚院客殿にて行われた。

1月21日(木) 正覚院文書調査第2回

10時~16時 正覚院客殿にて行われた。

1月23日(土) 午後1時~3時

平成22年度1%支援制度説明会

於市役所2F第1・2会議室

会計・総務が出席した。

1月30日(土) 午前10時~10時半

平成22年度1%支援制度検討会議

イトーヨーカ堂大食堂

- ・事業の選定。1団体1事業.なので「機関誌事業」を選定申請することになり。
 - ・2/9(月)提出書類を作成。認可の可否を、市の係に行き確認した結果、提書類の不備があり、それらを訂正し再度確認の上、提出の予定。
-

2月18日(木) 委員会 午後1時

八千代市立郷土博物館

役員会の方針・1%支援制度の検討

新入会員紹介 敬称略

桑田 隆 勝田台3丁目在住

斎藤 惇 高津在住

菅原 賢男 米本在住

鈴木 康彦 大和田新田在住

鈴木 千代 大和田新田在住

宮井 雄二 勝田台3丁目在住

目黒 邦夫 千葉市花見川区作新台在住

新入会員の声

37年間住み慣れた横浜から8月に八千代に引っ越しをしてきました。「WITH YATIYO?」自転車で八千代市内を走りまくっています。9月の熱田神社の三獅子舞、三山七年祭、佐倉の秋祭り、郷土色豊かな祭り、道祖神、道標、石仏など、田んぼ、野菜畑、牧場、沼など、のどかな田舎風景と横浜には無い環境に60歳後半の人生の場所として満足しています。

この度、郷土歴史研究会に出会い、入会出来た事に女房共々喜んでます。更に、新しい八千代を知ることができ、多くの地元の人々との交流ができる事は大変ハッピーなことであり、出会いに感謝しています。今後ともよろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。 鈴木 康彦

編集後記

来年度から、市の補助金もなくなり、会の経理会計、運営に少なからず支障が伴うような状況である。市の1%支援制度の活用を考える必要がある、会員全体の問題として対処しなければならない時期がきたと云えよう。(TS)